



教員紹介

経営学部

加藤 知子 KATO Tomoko

職位	教授
最終学歴	ダーラム大学大学院（修士課程卒業）
職歴	ニューカッスル大学現代言語研究科専任講師（日本語）、名古屋明德短期大学英語科助手・講師・助教授、星城大学経営学部助教授・准教授を経て、2020年4月より星城大学経営学部教授。2016年4月より2018年3月まで国際センター長、2016年より学長補佐、2018年4月より2020年3月まで女性活躍推進担当。2019年4月より女性キャリアマネジメント分野長。2020年4月より自分づくりゼミ運営委員会委員長。
学位	文学修士
資格（免許）、認定	
担当科目（学部）	英語Ⅲ・Ⅳ / 自分づくりゼミⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ / 総合基礎演習Ⅰ・Ⅱ / 外国語原書講読（英語）
担当科目（大学院）	
学生へのメッセージ	徳育なき教育なし。異文化の学びなき外国語学習なし。歴史の知識なくして未来の展望なし。愛国心なき国際人なし。皆さん、自国に誇りを持ちつつ、21世紀にふさわしい国際的な学びを深めてください。 大学四年間は、護られる側から護る側へ、導かれる側から導く側への移行時期です。大人の自覚も高めましょう。頑張ってください。
研究内容	1) 教養教育に関する諸問題（特に、大学教養教育に合致した英語教材の開発、教養教育の視点からの英語素材分析） 2) 宗教的視点に関する諸問題（特に、英語素材に見られる宗教的視点の検討、メシアニック・ジュダイズを巡る諸問題） 3) 言語学一般に関する諸問題 4) 異文化理解に関する諸問題（特に多数派と少数派との間の協働に関する事項）
研究分野キーワード	英語/ 教養教育/ 市民性/ 徳性/ 宗教（キリスト教）/多数派と少数派
URL	
著書	【著書】

- 1) 神野真寿美・加藤知子・村上美保子『英語聴解 I (改訂版)』名英図書出版協会 2003 年 4 月。
- 2) 神野真寿美・加藤知子・村上美保子『英語聴解 II』名英図書出版協会 2002 年 9 月。
- 3) 神野真寿美・加藤知子・村上美保子『英語聴解 I』名英図書出版協会 2002 年 4 月。
- 1) 加藤知子「日本におけるキリスト教伝道に関する一考察—清里の父ポール・ラッシュの伝道成果をヒントとして—」『星城大学 研究紀要』第 20 号、pp.1 - 16、2020 年 3 月。
- 2) KATO, Tomoko. (2019) 'On the "Japanese-ness" as a change facilitator, a diversity holder and a society sustainer,' The 11th International Workshop on Regional Innovation Studies 2019 and The 11th Taiwan-Philippines-Japan International Academic Conference 2019, pp. 119-122.
- 3) KATO, Tomoko. (2017) "Unnoticed Cultural Diversity in Japan," In The 9th Taiwan-Philippines-Japan Academic Conference: Sustainable Tourism Proceedings, pp.249 - 268.
- 4) 加藤知子「血盟団事件、千年王国、キリスト教左派」『星城大学 研究紀要』第 16 号、pp.13 - 27、2016 年 3 月。
- 5) 加藤知子「第二次世界大戦後日本基督教界を支配した歴史認識：その問題性—女たちの戦争と平和資料館の活動を手掛かりに—」『星城大学 研究紀要』第 15 号、pp.13 - 28、2015 年 3 月。
- 6) 加藤知子「日本基督教界における政治活動偏重のもたらす問題性」『星城大学 研究紀要』第 14 号、pp.15 - 37、2014 年 3 月。
- 7) 加藤知子「『心のノート』は戦争への入り口か？—『「心」と戦争』への反論—」『星城大学 人文研究論叢』No.8 pp. 53 - 76、2012 年 3 月。
- 8) 加藤知子「『キリスト教と天皇 (制)』—メシアニック・ジューダイズムを手掛かりに—」『星城大学 人文研究論叢』No.7 pp.43 - 64、2011 年 3 月。
- 9) 加藤知子「『レフト・ビハインド』と千年期前再臨説とアメリカ保守派についての覚書」『星城大学 人文研究論叢』No.5 pp.5 - 32、2009 年 3 月。
- 10) 加藤知子「我々はいかにして選択するべきか—映画『A Room with a View』と『The Remains of the Day』を手掛かりに」『名古屋明德短期大学紀要』No.15、 pp.53 - 78、2000 年 3 月。
- 11) 加藤知子「相対化と絶対化という視点から見た言語学—高尾利数『ソーシャルで読む聖書物語』と坂本義和『相対化の時代』を手掛かりに」『名古屋明德短期大学紀要』No.14 pp.43 - 66、1999 年 3 月。
- 12) 加藤知子「言語学は科学か —土屋俊『松村一登氏への質問状』をめぐって」『名古屋明德短期大学紀要』No.11 pp. 107 - 138、1996 年 11 月。

【学会発表】

- 1) 加藤知子「雑誌『みくに』掲載の多田顯「みくに経済学講座」一反ユダヤ主義をめぐる諸問題―」日本地域資源開発経営学会 第10回大会 星城大学 ZOOM 会場 (2021年7月)。
- 2) 加藤知子「異文化理解から読み解く三島由紀夫「文化防衛論」の八咫鏡―多文化共生時代のコミュニティ持続のヒントとして―」日本地域資源開発経営学会 研究部会 星城大学東海キャンパス ZOOM 会場 (2021年1月)。
- 3) KATO, Tomoko 'Beyond Differences and Inequality Approaches — Finding Hints in Our Traditional Cultural Heritages,' 2019年度異文化コミュニケーション学会第34回年次大会 (2019年11月)。
- 4) 加藤知子「日本の異教徒が語る日本武尊（やまとたけるのみこと）と宮酢媛（みやすひめ）―キリスト教と神道の異文化交流―」日本地域資源開発経営学会 第8回全国大会 (2019年7月)。
- 5) KATO Tomoko "Japaneseness" revisited in the multicultural education,' 2018 SIETAR JAPAN World Congress, August, 2018.
- 6) 加藤知子「内なる多様化の敵か味方か―インターネット空間での Brexit 支持者動画から読み解く―」異文化コミュニケーション学会 2017年次大会 (2017年10月)。
- 7) 加藤知子・神野真寿美「日本の中の多文化共生」異文化コミュニケーション学会 2016年次大会 (2016年9月)。
- 8) 神野真寿美・加藤知子「グローバルなアリーナでの歴史認識論争―クリティカルな歴史認識ができる学生になるために―」異文化コミュニケーション学会 2015年次大会 (2015年9月)。
- 9) 神野真寿美・中島英司・加藤知子「座学以外の講義形式の可能性を求めて―星城大学経営学部『社会探索ゼミ』の試み」大学教育学会第35回大会 (2013年6月)。
- 10) 加藤知子「東海市名和（寢覚の里）と氷上姉子神社（名古屋市緑区大高町）から日本を考える～神楽「伊吹山」の日本武尊と宮簀媛～」日本地域資源開発経営学会中部部会講演会・研究会 (2013年6月)。
- 11) 加藤知子・神野真寿美「教養教育という視点から見た『TOEIC®テスト新公式問題集』」大学教育学会第32回大会 (2010年6月)。
- 12) 加藤知子・神野真寿美「TOEIC®テスト問題集に見られる英語素材の分析―教養教育という視点から―」外国語教育メディア学会 (LET) 第49回 (2009年度) 全国研究大会 (2009年8月)。
- 13) 加藤知子「英語習熟度最下位クラスにおける授業改善―その工夫と検証」外国語教育メディア学会 (LET) 第47回 (2007年度) 全国研究大会 (2007年8月)。

14) 加藤知子・神野真寿美・加藤順一ら「新しい形の教養教育の模索—星城大学経営学部『文化教養ゼミⅠ・Ⅱ』の試み」大学教育学会第29回大会（2007年6月）。

15) 加藤知子・神野真寿美「星城大学におけるオリジナル英語教材作成および使用の試み—HIPLUS for Campus を利用して」外国語教育メディア学会（LET）第45回（2005年度）全国研究大会（2005年7月）。

【公開講座】

1) 「ウィズコロナ・ポストコロナ時代の男女共同参画—さらなる女性活躍社会を目指して—」第2部：シンポジウム「ニューノーマル時代の男女共同参画—コロナ危機をチャンスに変える！—」シンポジスト（2021年3月12日よりオンデマンド動画配信）。

2) 「日本を発信する英語—海外で尋ねられる意外な質問とは—」（2012年 東海市立文化センター）。

3) 「ハリー・ポッターとモラルをめぐる議論」（2005年 中部公民館知多市ふれあいプラザ）。

【地域貢献】

1) 東海市土地開発公社情報公開審査会会長。

2) 東海市公の施設の指定管理者選定委員会委員。

【国際交流】

1) 第12回台湾・フィリピン・日本国際学術会議参加（2021年7月2日 於：台湾 真理大学（オンライン））。

i. 開会式挨拶（星城大学として）

ii. 「日本的なるものとキリスト教—三島由紀夫「文化防衛論」の視点から—」（発表）

2) The 11th International Workshop on Regional Innovation Studies 2019 and The 11th Taiwan-Philippines-Japan International Academic Conference 2019 参加（2019年10月18日 於：三重大学）。

「On the "Japanese-ness" as a change facilitator, a diversity holder and a society sustainer」発表【招待】

3) ブルガリア Gabrovo 訪問団歓迎行事・模擬講義担当（2019年7月9日 於：星城大学）。

4) 台湾 真理大学・台湾 国立雲林科技大学／星城大学国際交流行事（コーディネート）（2019年6月25日）

5) The 10th Taiwan Philippines Japan International Academic Conference 参加（2018年11月9日 於：University of San Carlos, Republic of the

社会的活動
（公開講座・講演・
国際交流など）

Philippines)。

i. 「A kaname pivot to maintain our identity and to accommodate cultural diversity」 plenary speech

ii 「History as a Regional Reviver」 発表

6) ブルガリア Gabrovo 訪問団歓迎行事・通訳・模擬講義担当 (2018年4月11日 於: 星城大学)。

7) 第9回台湾・日本・フィリピン国際交流シンポジウム参加 (2017年5月6日 於: 台湾 真理大學)。

i. 「Unnoticed Cultural Diversity in Japan」 発表

ii. Panel B2 主持人 (Chair) 担当

8) JENESYS2015 カンボジア訪日団星城大学訪問行事 (コーディネート) (2016年2月19日)

9) JENESYS2015 ASEAN 諸国訪日団星城大学訪問行事 (コーディネート) (2015年10月15日)

10) JENESYS2.0 東ティモール訪日団星城大学訪問行事 (コーディネート) (2015年2月12日)

11) JENESYS2.0 ミャンマー訪日団星城大学訪問行事 (コーディネート) (2014年10月24日)

12) 国際バカロレア Diploma Programme Coordination Category 1 ワークショップ参加 (Certificate of Attendance 取得) (2014年8月6~8日)

13) 「TOEIC® English Texts for General Education」 (報告) 台日英語教育與國際人材培育研究會 (2009年10月 台湾)。

14) 「ITを活用した新しい英語教育の実践」 (報告) (2005年9月 於: 文登中日友好日語中等專業学校 (中華人民共和國))。

15) 『第7回アジア児童文学大会論文集』 (英語・中国語版) 監修 (翻訳監修 (共同)) 第7回アジア児童文学大会 (2004年8月 日本)。

16) Japanese instructor at the BAJS (British Association of Japanese Studies) (日本語講師) 1991年 Summer Institute '91 at Durham University。

17) Japanese instructor and assistant administrator at the BAJS (British Association of Japanese studies) (日本語講師・アシスタントアドミニストレーター兼務) 1990年 Summer Institute '90 at Durham University。

【所属学会】

1) The British Association for Applied Linguistics

2) The Japan Association for Language Teachers

3) 外国語教育メディア学会

- 4) 大学教育学会
- 5) 日本言語学会
- 6) 日本英語学会
- 7) SIETAR (Society for Intercultural Education, Training and Research) JAPAN
- 8) 日本地域資源開発経営学会

【研究ノート】

- 1) 加藤知子「日本を英語で発信できる学生の育成 -Critical Thinkers are the Winners.-」『星城大学 研究紀要』第 21 号、pp. 21 - 27、2021 年 3 月。
- 2) 加藤知子「杉田水脈氏の LGBT 発言を巡る諸問題についての覚書 -英米での論点と比較して-」『星城大学 研究紀要』第 19 号、pp. 45 - 51、2019 年 3 月。
- 3) 加藤知子「続 インターネットの言語空間における『グローバル社会』に抗する者たちの連携—グローバル化とグローバル主義の違いに着目して—」『星城大学 研究紀要』第 18 号、pp.50-56、2018 年 3 月。
- 4) 加藤知子「インターネットの言語空間におけるグローバル社会に抗する者たちの連携—英国 EU 離脱と米国大統領選挙を手掛かりに読み解く—」『星城大学 研究紀要』第 17 号、pp.65-70、2017 年 3 月。
- 5) 神野真寿美・中島英司・加藤知子ら「座学以外の講義形式の可能性を求めて—星城大学経営学部『社会探索ゼミ』の試み」『星城大学 研究紀要』第 14 号、pp.57 - 65、2014 年 3 月。
- 6) 加藤知子「日本を発信する英語」、『星城大学 研究紀要』No.13、 pp. 27 - 35、2013 年 3 月。
- 7) 加藤知子・神野真寿美「『TOEIC®テスト新公式問題集』Part3 の質的分析—徳性の視点から—」『星城大学 人文研究論叢』No.8、 pp. 127 - 158、2012 年 3 月。
- 8) 加藤知子「メシアニック・ジューに関する覚書」『星城大学人文研究論叢』No.6、pp. 25 - 63、2010 年 3 月。
- 9) 加藤知子「『レフト・ビハインド』に見られる反キリスト像についての覚書」『星城大学 人文研究論叢』No.4、pp. 97 - 110、2008 年 3 月。
- 10) 加藤知子「ハリー・ポッターとナルニア国物語をめぐる議論についての覚書」『星城大学人文研究論叢』No.3、pp.39 - 54、2007 年 3 月。
- 11) 加藤知子「『ハリー・ポッター』と『ロード・オブ・ザ・リング』をめぐる、キリスト教間の議論についての覚書」『星城大学人文研究論叢』No.1、pp.111 - 118、2005 年 3 月。

【新聞寄稿】

- 1) 加藤知子「三島由紀夫 内なる多様性—多文化共生の視点から読み解く『文化防衛論』」『中部経済新聞』オープンカレッジ 2021年1月14日 p.8。
- 2) 加藤知子「人と人との繋がりへ—暗闇の中から見えてくるもの—」『中部経済新聞』オープンカレッジ 2020年6月23日 p.8。
- 3) 加藤知子「最も重要な事柄のために—柔軟さと秩序との狭間での行動—」『中部経済新聞』オープンカレッジ 2019年12月19日 p.8。
- 4) 加藤知子「われわれが変える未来—矢嶋楯子の生き方から覚悟をもらって—」『中部経済新聞』オープンカレッジ 2019年6月19日 p.8。
- 5) 加藤知子「グローバル新年—日本文化を愛おしむ人々とともに—」『中部経済新聞』オープンカレッジ 2018年12月18日 p.8。
- 6) 加藤知子「古代の人々が遺したもの—『聖書』は21世紀西欧を生き残れるか—」『中部経済新聞』オープンカレッジ 2018年5月15日 p.8。
- 7) 加藤知子「日本の文化多様性—新旧・東西文化をつなぐ要として—」『中部経済新聞』オープンカレッジ 2017年11月15日 p.8。
- 8) 加藤知子「自由な国の『法と秩序』—トランプ氏は繁栄をもたらすことができるのか—」『中部経済新聞』オープンカレッジ 2017年5月22日 p.7。
- 9) 加藤知子「古典から学ぶ未来—憲法改正論議に普遍的な英知を—」『中部経済新聞』オープンカレッジ 2017年1月21日 p.7。
- 10) 加藤知子「日本のお手本国、日本がお手本国—女性皆が活躍できる社会整備とは—」『中部経済新聞』オープンカレッジ 2016年6月30日 p.10。
- 11) 加藤知子「グローバル時代の英語教育—愛国心持つ若人の育成を—」『中部経済新聞』オープンカレッジ 2015年11月19日。

【学内発表】

- 1) 加藤知子「日本的キリスト教についての—考察—今泉源吉『みくに』から見られる日本的なるもの—」『2020年度経営学部研究費助成研究報告会』星城大学東海キャンパス (Zoom 教室) 2021年5月19日。
- 2) 加藤知子「日本におけるキリスト教伝道に関する—考察—清里の父ポール・ラッシュの伝道成果をヒントとして—」『2019年度経営学部研究費助成研究報告会』星城大学東海キャンパス (Zoom 教室) 2020年6月17日。
- 3) 加藤知子「日本を英語で発信できる学生の育成 —Critical Thinkers are the Winners.—」『2018年度星城大学経営学部研究費助成研究報告会』星城大学 (1201 教室) 2019年6月19日。
- 4) 加藤知子「和平を発信する英語—自国に誇りを持ち国際協調できる学修者のための英語教材—」『平成29年度元気創造研究センタースタートアップ助成研究報告会』星城大学 第二セッション (4402 教室) 2018年3月13日。

5) 加藤知子「日本を発信する英語教材の作成—平和のメッセージを残した人々について語る学生を育てるために—」『平成 28 年度元気創造研究センター助成研究報告会 経営学部研究費受給研究部会』星城大学 第三会場 (2204 教室) 2017 年 3 月 14 日。

【星城大学 学内研究費受給実績】

1) 2021 年度 星城大学学部研究費「日本的キリスト教についての一考察—今泉源吉『みくに』における反ユダヤ主義から日本キリスト教界が受けた弾圧を読み解く—」

2) 2020 年度 星城大学学部研究費「日本的キリスト教についての一考察—今泉源吉『みくに』から見られる日本的なるもの—」

3) 2019 年度 星城大学経営学部研究費「日本におけるキリスト教伝道に関する一考察 —清里の父ポール・ラッシュの伝道成果をヒントとして—」

4) 2018 年度 星城大学経営学部研究費「日本を英語で発信できる学生の育成—Critical Thinkers are the Winners.—」

5) 2017 年度 元気創造研究センター研究スタートアップ助成金「平和を発信する英語—自国に誇りを持ち国際協調できる学修者のための英語教材—」

6) 2015 年度 星城大学経営学部研究費「日本を発信する英語教材の作成—平和のメッセージを残した人々について語る学生を育てるために—」